

平成25年度

クリーニング師試験(筆記)問題

衛生法規に関する知識
公衆衛生に関する知識
洗濯物の処理に関する知識

9:00～10:00
(60分)

指示があるまで開いてはいけません。

(注意事項)

- 1 解答用紙の右上の記入欄に受験番号及び氏名を記入してください。
- 2 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 3 解答の誤りを訂正する場合は、消しゴムで消して訂正してください。
- 4 解答は、1つの解答欄に1つだけ記入してください。2つ以上書くとその解答は無効になります。
- 5 試験開始後30分を経過するまでは、退室できません。
- 6 退室するときは、解答用紙を裏返して机の上に置いてください。
- 7 試験終了後、解答用紙のみを回収します。問題用紙は持ち帰っても構いません。

I 衛生法規に関する知識

問1 次の文中の()にあてはまる最も適切な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ クリーニング業法では「(1)とは、洗濯物の処理又は受取及び引渡しのための営業者の施設をいう。」と定義されている。
- ・ クリーニング所を(2)しようとする者は、クリーニング所の位置、構造設備及び従事者数並びにクリーニング師の氏名その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事に(3)しなければならない。
- ・ クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、都道府県知事が指定したクリーニング師の(4)の向上を図るための(5)を受けなければならない。

ア. 研修	イ. クリーニング所	ウ. 資質	エ. 登録	オ. 許可申請
カ. 開設	キ. 無店舗取次店	ク. 技術	ケ. 実習	コ. 届出

問2 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 営業者は、洗濯物の洗濯をするクリーニング所に、業務用の機械として、洗濯機及び脱水機をそれぞれ少なくとも1台備えなければならない。ただし、脱水機の効用をも有する洗濯機を備える場合は、脱水機は、備えなくてもよい。
- (2) 営業者は、クリーニング所ごとに、従事者5人につき1人以上のクリーニング師を置かなければならない。
- (3) クリーニング師は、その資格を取得した後は、すべての都道府県でクリーニング師としての業務につくことができる。
- (4) クリーニング所を廃止したときは、速やかに都道府県知事に届け出なければならない。
- (5) クリーニング師の免許は、厚生労働大臣が、都道府県の実施するクリーニング師試験に合格した者に与える。

問3 次の文中の()にあてはまる最も適切な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして(1)で指定する洗濯物を取り扱う場合においては、その洗濯物は他の洗濯物と(2)おき、これを洗濯するときは、その前に消毒すること。
- ・ (3)は、営業者又はその使用人で、洗濯物の処理又は受取及び引渡し of 業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、その就業が(4)上不相当と認めるときは、期間を定めてその(5)ことができる。

ア. 安全衛生	イ. 都道府県知事	ウ. まとめて	エ. 業務を停止する
オ. 公衆衛生	カ. 区分して	キ. 厚生労働省令	ク. 都道府県条例
ケ. 営業を取り消す	コ. 厚生労働大臣		

問4 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) おしぼりを貸与し、使用後回収して洗濯の上、さらに貸与することを繰り返すことは、クリーニング業に含まれる。
- (2) 着物をすべてほどいて洗う、洗い張り業は「衣類を原型のまま洗濯」するのではないので、クリーニング業ではない。
- (3) クリーニング所においては、苦情の申出先を店頭に掲示するだけでなく、洗濯物の受取及び引渡しをしようとする際に、その掲示した内容を記載した書面も配布する必要がある。
- (4) クリーニング所において消毒を要する洗濯物として、保育所で使用されたおむつは該当するが、温泉で使用されたタオルは該当しない。
- (5) クリーニング業法で規定するクリーニング所又は業務用の車両の衛生状況を確認する立入検査を行う者は衛生管理責任者という。

Ⅱ 公衆衛生に関する知識

問1 次の文中の()にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ (1) 法では、健康被害を生ずるおそれのある物質を含む排水を出す施設や生活環境に被害を生ずるおそれのある物質の排水を出す施設を特定施設として位置付け、届出をさせるなどの規制を行っている。
- ・ (2) 法により、有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたのか、というデータを把握し、それを集計し、公表する仕組みが定められている。
- ・ ドライクリーニング機の排液処理装置から排出されるテトラクロロエチレンの管理基準濃度は(3)以下となっている。
- ・ 引火性溶剤を用いるドライクリーニング工場については、住居系・(4)用途地域における立地(建築)を禁止している。
- ・ 省資源化の具体策としては、3R(スリーアール)と呼ばれる取組みが原則である。このうち、クリーニング業は、汚れて着用できなくなった衣類を再び着られるようにきれいにする衣類の(5)を生業としている。

ア. 0. 1mg/L	イ. 大気汚染防止	ウ. リサイクル	エ. PRTR
オ. リユース	カ. 工業系	キ. 土壌汚染対策	ク. 0. 5mg/L
ケ. 商業系	コ. 水質汚濁防止		

問2 次の(1)～(5)と最も関係の深い事柄をア～オから1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) 疥癬 (2) 白癬 (3) 結核 (4) インフルエンザ (5) ノロウイルス

- ア. 「再興感染症」として再び注目すべき疾患となっている。
- イ. 主な感染経路は飛沫感染で、流行前のワクチン接種が有効である。
- ウ. ヒゼンダニが皮膚の最外層である角質層に寄生し、人から人へ感染する疾患である。
- エ. この病原体を原因とする食中毒患者数は年間の食中毒患者数の約半分を占めている。
- オ. 真菌が原因の感染症で、先進国では足への感染が問題となっている。

問3 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 消毒とは病原体を物理的または化学的方法により死滅させ、あるいは感染量に達しない程度まで大幅に減少させることをいう。
- (2) 昭和57年3月31日付け環指第48号厚生省環境衛生局長発「クリーニング所における衛生管理要領」に示された指定洗濯物の一般的な消毒方法の1つとして、「さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離残留塩素150ppm以上の水溶液中に30℃以上で5分間浸すこと(この場合終末遊離塩素が100ppmを下回らないこと。)」とある。
- (3) 昭和57年11月16日付け環指第157号厚生省環境衛生局長発「おしぼりの衛生的処理等に関する指導基準」では、「貸与したおしぼりは、少なくとも4日以内に回収して処理すること。」とされている。
- (4) ノロウイルスによる吐ぶつが付着した洗濯物の処理にはエタノール消毒が有効である。
- (5) クリーニング所の営業者は従事者が結核や疥癬等にかかった場合、その従事者にはマスクや手袋を着用させる等、感染予防対策に十分配慮し、業務に従事させる。

問4 次の文中の()にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ (1) によると、「健康とは、肉体的、精神的および社会的に完全によい状態にあることであり、単に疾病または虚弱でないということではない。」と定義されている。
- ・ 日本国憲法第25条では、「すべて国民は、(2) で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。(3) は、すべての生活部面について、(4)、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」と規定されている。
- ・ 厚生労働省「人口動態統計月報年計」によると平成24年における日本人の三大死因は悪性新生物、心疾患、(5) である。

ア. 肺炎	イ. 都道府県	ウ. 健康	エ. ウィンズローの定義
オ. 社会保健	カ. WHO憲章	キ. 糖尿病	ク. 平和
ケ. 国	コ. 社会福祉		

Ⅲ 洗濯物の処理に関する知識

問1 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) ランドリーでは、メタ珪酸ナトリウムがアルカリ助剤として洗剤と併用される。
- (2) ドライクリーニングは、ランドリーと比べ衣類の形くずれや収縮が大きい。
- (3) ポリエステルは、原料の木材パルプから絹の外観に似せて人工的につくった再生繊維である。
- (4) チャージシステムとは、あらかじめドライ溶剤にドライソープを添加しておいて洗う方法である。
- (5) 皮革は、熱に弱く高熱を受けると軟化膨張する性質がある。

問2 次の溶剤と洗剤等に関する記述について、() にあてはまる最も適切な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ ランドリー用水の条件の一つは、液性が、(1) であることである。
- ・ 洗剤は、界面張力を(2) 働きを持っており、その主成分は(3) である。
- ・ ランドリーで主に使用される漂白剤は(4) と過炭酸ナトリウムである。
- ・ ドライソープには(5) 汚れとシミ除去を促進する働きがある。

ア. 酸性	イ. 上げる	ウ. アルカリ性	エ. 油性
オ. 下げる	カ. 次亜塩素酸ナトリウム	キ. メタ珪酸ナトリウム	
ク. 水溶性	ケ. 柔軟剤	コ. 界面活性剤	サ. 中性

問3 次のシミ抜きに関する記述について、() の中の語句のうち、正しいものを選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ シミ抜きは、まず(1. ア：水溶性 イ：不溶性 ウ：油性)のシミを処理し、次に(2. ア：水溶性 イ：不溶性 ウ：油性)、(3. ア：水溶性 イ：不溶性 ウ：油性)の順に処理を行うのが基本である。
- ・ 水溶性のシミは、霧吹きで霧をかけると、生地よりもシミのほうが水分を(4. ア：早く イ：遅く)吸収する。
油性のシミは、一般に生地が透けて見え、手ざわりが(5. ア：柔らかい イ：硬い)。

問4 次のドライクリーニングに関する記述について、() にあてはまる最も適切な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ ドライクリーニングのみでは、十分に除去できない汚れやシミは、主として(1)の汚れである。
- ・ ドライクリーニング溶剤には油脂溶解力が大きく、短時間で洗浄、乾燥ができ生産性が高い反面、風合いが硬くなりやすい(2)や、油脂溶解力が小さく比重が軽いので、ソフト洗いに適しているが、乾燥に高温と時間を要するため、生産性が問題にされやすい(3)などがある。
- ・ プレスしながら蒸気をあてるので、品物が硬く仕上がるため、背広の衿、ズボンの折目に用いるのは、(4)蒸気である。
- ・ ドライクリーニングの乾燥状態の確認にドライチェッカーを用いるときは、衣類の(5)部分で使用する。

ア. 水溶性	イ. 過炭酸ナトリウム	ウ. 外側	エ. 下ごて
オ. 上ごて	カ. CMC	キ. テトラクロロエチレン (パーク)	
ク. 内側	ケ. 石油系溶剤	コ. 不溶性	